

そま
あなたも青梅の緑に**杣**ってみよう
(施策を活用した市民の取り組み紹介)



あなたも青梅の緑に杣ってみよう

（施策を活用した市民の取り組み紹介）

市民の皆さまが、緑に関わる取り組みを行う際に、本計画に位置づけた施策を有効に活用して頂くための方法を、事例を交えてご紹介します。

本計画の目標年次である平成 35（2023）年の本市において、緑に関する取り組みを実践している 4 名の市民（架空の人物）に、どのような取り組みをしているかインタビューしています。

Q

青梅市公園緑地課のQ平が、市民の方々に質問していきます。
よろしくお願いします。

では早速、1 つ目の質問です。

あなたの家では、どんなふうに緑を取り入れていますか？



A子さん
(70 代女性)

私の家では、庭で家庭菜園をしていて、大きなイチヨウの木もあります。玄関先には花鉢を置き、最近では、市の補助金を利用して、ブロック塀をやめて生け垣にしました。

夏になると、1 階の大きな窓の近くでアサガオやゴーヤで『みどりのカーテン』を仕立てています。この夏は、うまく育ったのでコンテストに応募してみました。

【施策番号活用できる施策（頁数）

22 平地林や名木・古木等の保全 (43 頁)

68 生け垣設置への助成 (54 頁)

70 緑の顕彰 (54 頁)



B美さん
(30 代女性)

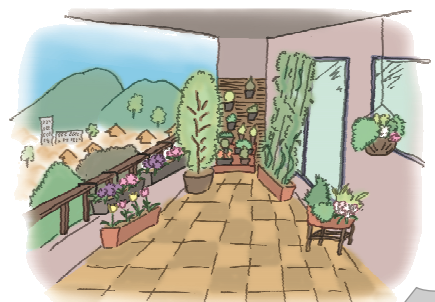
私も『みどりのカーテン』に挑戦しています。

『みどりのカーテン育成モニター』に応募して、栽培キットをもらって、ゴーヤを育てています。

私の家はマンションのため、あまり植物を植えることはできませんが、ベランダに花台とプランター、ハンギングバスケットなどを立体的にうまく配置して、『青梅産業観光まつり』でもらったチューリップの球根やパンジーの苗なんかを育てています。

【施策番号活用できる施策（頁数）

69 緑化指導・緑化技術の普及 (54 頁)





C夫さん
(50代男性)

庭の話ではないのですが、先日、家を建て替えた際、『多摩産材』を使って建てました。また、室内の床材や備え付けの家具なんかも、なるべく『多摩産材』を使うようにしたので、木の香りに毎日癒されています。

庭は、ヤマボウシをシンボルツリーにして、郷土種を中心にいろいろな植物を植えました。青梅らしい風景を守りたいですね。

せっかくなので、他の方にも見てもらうために、『オープンガーデン』にしています。市で広報していただいているので、たくさんの方が訪ねてきますよ。

【施策番号】活用できる施策（頁数）

29 青梅から産出される材の活用促進（45頁）

49 オープンガーデンの推奨（49頁）



Q

次に、2つ目の質問です。

家のほか、どんなところでどんなふうに緑とふれあっていますか？



D太くん
(10代男性)

僕はよく、近所の公園で友達と遊んでいます。

日曜日には時々、お父さんや近所の人たちと一緒に、その公園の草刈りや掃除なんかをやっています。

【施策番号】活用できる施策（頁数）

40 市民参加による公園緑地等の維持管理体制の充実（47頁）



B美さん
(30代女性)

子育てをしていることもあって、「食育」や「地産地消」に興味があるのですが、家に菜園をつくる場所がないので、市民農園で農作物を育てています。

最近は、農業体験農園や貸し農園などで、育て方のノウハウを教えてくれるところもあるみたいですね。

【施策番号】活用できる施策（頁数）

54 市民農園の利用促進（50頁）

48 農と親しむ場づくりの検討（49頁）



C夫さん
(50代男性)

昔から歴史に関心があり、観光歩き道マップを見ながら、史跡や寺社めぐりをしています。

歩いていると、史跡の近くに木陰で休憩できる場所なんかあったり、その周辺の緑がきれいに管理されていたりしているので、気持ちよく散策できます。

【施策番号活用できる施策（頁数）

36 歴史・文化資源を活かしたまちあるきネットワークの形成 (46 頁)

35 文化財等の保全と公園的活用 (46 頁)

23 歴史・文化資源と一体となった緑の維持管理 (43 頁)



A子さん
(70代女性)

私は毎日、霞川沿いを犬と一緒に散歩しています。

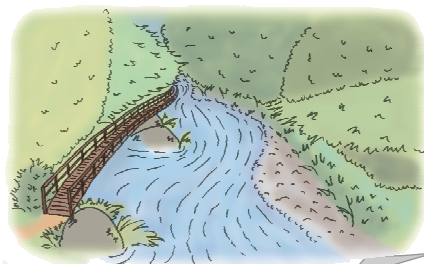
週末には、健康のため、夫と一緒に多摩川沿いや山中の遊歩道をハイキングしています。

【施策番号活用できる施策（頁数）

32 市街地を流れる河川の活用 (45 頁)

31 多摩川と一体となった緑の活用 (45 頁)

30 山地の利用促進を図った整備 (45 頁)



Q

最後の質問です。

どんな緑に関する取り組みに参加していますか？



C夫さん
(50代男性)

『青梅の森』の市民ボランティア組織『青梅の森杉保プロジェクト』に登録しています。季節によって、下草刈りや間伐のほかにも、キノコ栽培や炭焼き、星空観察など、いろんなことができるので、毎回楽しみにしています。

定年退職後は、他の森でも、森林ボランティアやボランティアリーダーをしてみたいなあと考えています。

【施策番号活用できる施策（頁数）

38 市民協働による「青梅の森」の保全・運営 (47 頁)

39 協働による森林の整備 (47 頁)

59 農林業ボランティアの育成 (52 頁)

60 ボランティアリーダーの育成 (52 頁)



B美さん
(30代女性)

週末に農業体験イベントがある時には、子どもたちと参加しています。

子どもが大きくなったら、『援農ボランティア』をはじめようかと考えています。

【**施策番号**】活用できる施策（頁数）

43 農と親しむ機会の充実（48頁）

59 農林業ボランティアの育成（52頁）



A子さん
(70代女性)

『コミュニティ花壇』の管理のお手伝いをしております。

また、多摩川沿いを散歩していたら、BBQをやった後のようでしたが、河川敷が汚れていることがあって気になっていました。今は、ご近所の方を誘って『多摩川1万人の清掃大会』に参加しています。地元の川はきれいにしておきたいですからね。

【**施策番号**】活用できる施策（頁数）

58 緑のボランティアの育成（51頁）

66 道路沿いへの花壇等の設置（53頁）

33 多摩川の適切な利用に向けた検討（46頁）

41 青梅市みどりと水のふれあい事業推進協会の事業展開（47頁）



D太くん
(10代男性)

小学校の授業で自然観察会や農業体験をしました。

それから、校庭にある花壇で、トマトやキュウリを育てたり、教室の窓の外でアサガオの『みどりのカーテン』を育てたりしています。グラウンドは芝生化されていて、転んでも痛くありません。

【**施策番号**】活用できる施策（頁数）

42 緑を活かした環境教育・自然体験等の推進（48頁）

62 学校等の緑化修景（52頁）



Q

ご回答いただき、ありがとうございました。

このインタビューに回答していただいた市民の取り組みをヒントに、皆さんも青梅市の緑のまちづくりに参加し、

青梅の緑にそまってみませんか？

緑のまちづくり推進ロゴマークについて

各章の扉絵に掲載しているこのマークは、「杣」の漢字をもとに、木へんと山を図形化したもので、未来へとつなげていきたい青梅市内の大切な緑を表現しています。



- ▲ 大きな三角は青梅の代表の山である、御岳山
- ▲▲ 二つの小さな山は、長淵丘陵と霞丘陵
- ▲ 木は霞丘陵の西の端にある「青梅の森」

このマークは、「青梅の森」や市内の公園緑地等のせん定木などから作られるオリジナルグッズ、花壇などに使用されています。